

事務事業実績測定調査

事務事業名称	結婚等新生活支援事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	子ども未来部				課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	2017 (H29) 年度				年度	～								年度まで
根拠法令等	枚方市結婚等新生活支援補助金交付要綱													
関係補助金名称												サンセット	～	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		婚姻し枚方市内で新婚生活を送る40歳未満の新婚世帯等											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		結婚等に伴い、経済的負担がかかる。											
	ターゲットが抱える課題		経済的理由により結婚等に踏み出すことができない。											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経済的負担が軽減され、結婚等に踏み出すことができる。													
事業概要	少子高齢化・人口減少が進行する中、結婚等に伴い新たな生活を始める新婚世帯等に対し、結婚等に伴う住宅の賃借・購入費用や引越費用を補助することにより、結婚等をしやすい環境づくりを推進し、もって少子化対策の強化に資するとともに、若年世代の本市への定住を促進する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	本補助金により、結婚等に伴う経済的負担が軽減される。				対象者に結婚等新生活支援補助金が交付される。				結婚等新生活支援事業を実施する。					
指標設定	指標説明		結婚等新生活支援事業に関するアンケートに回答した世帯のうち、「本事業が結婚新生活に伴う経済的不安の軽減に役立った」と回答した世帯の割合。				補助金交付申込世帯数における交付決定世帯数。				補助金交付申込世帯数。			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	202	202	202	202	202	202	202	202
	実績		99				201				201			
	達成度		99%				100%				100%			
	分析		アンケートに回答した171件中、とても役立ったまたはある程度役立ったとの回答は合計で170件であった。あまり役立たなかったとの回答が1件あった。多くの申請者にとって本事業は役立っていることが判断できる。				補助金の交付申込を行った世帯については、全世帯に交付決定を行うことができた。想定通りであった。				ほぼ想定どおりの申込件数となった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,361	9,329	7,178		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	6,361	9,329	7,178		
	物件費計	62,812	50,971	59,939	60,600	99%	
	歳出計	69,173	60,300	67,117			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	20,718	17,554	18,243	24,150		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	20,718	17,554	18,243	24,150		
一般財源		48,455	42,746	41,696	36,450		

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は事業実施から4年目となったため、事業を開始した平成29年から令和元年までの本補助金申請者全員に対してアンケート調査を行った。アンケートには家族構成を確認する設問を作り、補助金を活用した世帯に子どもが産まれていることなどを調査することで、本事業が少子化対策の一助となっているかの検証を行うことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度以降については、効果検証等を行うとともに、引き続き、より効果的な制度につながるよう取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子ども・子育て支援事業計画等関係事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3	○	R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	~	年度まで
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称	枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会				
事業対象	メインターゲット	市内在住のおおむね18歳未満の全ての子ども及びその保護者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加による保育需要の高まりがある一方で、待機児童が生じている状況や児童虐待の恐れ等、保護者を取り巻く子育て環境の変化に伴う諸問題に対応し、子ども・子育てに関する施策を効果的に実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	子ども・子育て支援事業計画等を適切に策定・推進することで、基本理念である「子どもが笑顔で健やかに成長できるまち枚方」の実現が出来る状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「枚方市子ども・子育て支援事業計画」の策定、進捗管理及び「枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会」の事務局運営を行う。 「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」のプラン後期を見据えた改定等を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
						「第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画」の充実を検討する。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明					委員会等で出た意見のうち、各事業に反映できた数				「第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理や計画改定を検討する委員会等での意見数(各年度当初の持ち越し分を含む)			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					1	1	1	1	3	3	3	3
	実績					0				3			
達成度					0%				100%				
分析					枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会でいただいた意見について、各事業への反映を検討したが、実施には至らなかった。				枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会において、第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画における各事業に対する意見を3件いただいた。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	6,380	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	6,380	
	物件費計	—	—	56	0	—
	歳出計	—	—	6,436		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	56	0	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会において、枚方市子ども・子育て支援事業計画(第1期)の総括を行った。その際に委員からいただいた意見については、各事業への反映を検討したが、実施には至るものはなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行うとともに、社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会等からの意見について、各事業への反映を検討することで、計画にかかる取り組みの充実を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	青少年健全育成事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部				課	子ども青少年政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	大阪府青少年健全育成条例、枚方市青少年育成指導員に関する規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称	青少年問題協議会				
事業対象	メインターゲット	未成年者			
	サブターゲット	成人			
	ターゲットが抱える課題	不審者等から狙われる危険性。			
	ターゲットが抱える課題	周囲の環境などの様々な要因から、非行に走り、他者や自分自身を傷つけてしまう状況になる。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	巡回やこども110番運動などの大人や地域の見守りにより、安心して子どもが暮らせ、青少年が自らの力で心身ともに健やかな成長を遂げていこうとする状態。				
事業概要	<p>青少年育成指導員(定数380人)は、各45小学校区コミュニティ協議会の推薦を経て、市長が委嘱して活動している。活動内容としては、各校区内において、①青少年問題に関する相談活動、②地域青少年団体の指導育成③街頭における青少年の指導、④地域の環境浄化と関係先への連絡、⑤啓発・広報活動を行っている。</p> <p>また、校区における街頭パトロール活動のほか、不審者から逃れるために駆け込んできた子どもたちの安全を確保するため、各地域において「こども110番の家」の旗の設置推進活動を実施したり、青少年の健全な成長を阻害する有害な環境から青少年を保護するため制定されている「大阪府青少年健全育成条例」の普及啓発を図るとともに有害図書等の販売状況等を確認する「青少年社会環境実態調査」への協力も行っている。さらに、青少年の健全な育成に向けた社会環境づくりを社会全体で推進するため、各種街頭啓発活動にも取り組んでいる。</p> <p>なお、委嘱された青少年育成指導員は、市青少年育成指導員連絡協議会を結成し、毎月45校区の代表者が集まり校区代表者会議を開催し、市との連絡調整や意見交換などを実施している。</p> <p>また、地域の子ども会が任意加入している大阪府子ども会安全共済会事業の窓口についても、市青少年育成指導員連絡協議会が担っている(平成15年度末をもって市こども会連絡協議会が解散しているため)。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		安心して子どもが暮らせ、青少年が自らの力で心身ともに健やかな成長を遂げていこうとする状態になっている。				青少年健全育成に関する諸活動が拡がる。				青少年育成指導員より、青少年健全育成に関する諸活動を実施。			
指標説明		こども110番運動協力件数				夏季統一パトロール及び年末一斉パトロールの実施回数(夏季2回、年末1回)				青少年育成指導員の人数			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	5,000	5,000	5,000	5,000	135	135	135	135	380	380	380	380
	実績	4,730				33				358			
	達成度	95%				24%				94%			
	分析	概ね想定どおりであった。				夏季統一パトロールについて、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、中止となった校区が多く、年末一斉パトロールについては全校区中止となったため、実施回数が少なくなった。				概ね想定どおりであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,361	9,620	4,785		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	4,824	4,863	0		
		特別職非常勤	—	—	4,810		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	11,185	14,483	9,595		
	物件費計	1,298	1,259	758	1,187	64%	
	歳出計	12,483	15,742	10,353			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		12,483	15,742	758	1,187		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、校区代表者会議、街頭啓発活動及び校区内パトロール等の活動中止が多くなったが、一部オンラインを用いた青少年育成指導員対象の全体研修を実施し、状況に応じて取り組むことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、青少年育成指導員との連携を図りながら、「こども110番の家」運動に協力いただける家庭及び事業所への旗の配付を行い、青少年健全育成に関する諸活動が拡がるよう推進する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方公園青少年センター維持管理事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部				課	子ども青少年政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1989(S64)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立枚方公園青少年センター条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	施設利用(貸館業務)については、主に青少年利用(団体)を優先しているが、地域・一般市民(在学在住在勤)も対象としている。また他市の方、政治・宗教・営利団体についても、一部条件に違いがあるが利用に供している。(予約面、使用料で差がある。)
	サブターゲット	枚方公園青少年センターに在籍する職員、及び子ども青少年政策課担当職員。(純粋なセンター運営事務の部分について)
	ターゲットが抱える課題	枚方公園青少年センターの運営を円滑に図る必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	青少年の年代の方々に対して、居場所の提供、活動の支援を通じて対象者の健全な育成が達成されている状態。
-----------------------	--

事業概要	<p>開設:平成2年1月 所在地:枚方市伊加賀東町6-8 建物構造:鉄筋コンクリート地下1階地上3階建て(一部4階建て)建物面積1,465.12㎡。 1階部分は枚方市公設市場サンパーク、地下は駐車場。2階部分に枚方市立中央図書館枚方公園分室を併設。 主な設備:ホール(定員150名)、音楽室、料理実習室、和室、集会室、ロビー。 開設時間:毎月第4月曜日と年末年始を除く毎日午前9時から午後9時。 青少年団体をはじめとした利用団体の活動を支援するための貸館業務やロビー・印刷室などの利用への対応、館内施設の点検業務や清掃業務の委託などを行っている。</p>
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	青少年の年代の方々に対して、居場所の提供、活動の支援を通じて対象者の健全な育成が達成されている。	適切な維持管理により、青少年の年代の方々安心して利用できる機会が増える。	枚方公園青少年センターの施設保全や保守点検等の維持管理を行う。	
指標設定	指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	施設利用満足度 【算出式:「満足」「ほぼ満足」の回答者数/施設利用者アンケートの回答者数×100】	青少年団体の施設利用数	施設・設備・備品の修繕・更新の実施件数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 件	単位 件
	達成度	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
分析	179人/248人	163	6	
		103%	36%	120%

分析	179人/248人	コロナ禍の利用中止期間や利用自粛等があり、目標を大幅に下回った。R2利用可能日数第1集会室・第2集会室・和室・料理実習室200日、ホール185日、編集室・第1音楽室・第2音楽室155日。	音楽室窓修理、2階ロビーカーペットコーナー修理、1階・2階・3階(女子)トイレ仕切り壁修繕、第2音楽室ノブ修理、2階・3階ブラインド修理などを実施した。
----	-----------	---	--

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	6.50
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	13,479	13,698	13,476	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	6,687	6,572	5,256	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人件費計	20,166	20,270	18,733		
	物件費計	13,563	13,939	13,232	14,546	91%
	歳出計	33,729	34,209	31,965		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	3,482	3,190	1,644	3,801	
	市債	0	0	0	0	
	その他	115	104	36	99	
	歳入計	3,597	3,294	1,680	3,900	
一般財源		30,132	30,915	11,552	10,646	

5. 総括的分析

総括的分析	R2年度は、アンケートによる施設利用者満足度の目標は達成できたが、コロナ禍のなか、利用中止期間や利用自粛の影響により、利用数や利用率についてはR1年度を下回った。開設から30年が経過し、施設の老朽化が進むなか、利用者の満足度の向上と利用推進を図るため、引き続き、必要に応じた設備の改善等を行う。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、青少年に学習と憩いの場を与え、仲間づくりと活動を支援し、また、地域交流の場として、文化・学習でも利用できる施設として、利用者の満足度の向上と利用推進を図るため、必要に応じた設備の改善等を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方公園青少年センター青少年サポート事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	子ども未来部				課	子ども青少年政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名		15-3.ひきこもりや若年無業者、ひとり親家庭の自立に向けた支援										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2007 (H19) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市立枚方公園青少年センター条例					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	相談については青少年問題の悩みを持つ本人及びその家族・関係者。サポート講座はそれらを含めてその他一般の関心を持つ方々。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	青少年世代の方々が抱える様々な問題や悩みに対して、時間帯や場所など、幅広く相談できる手段がない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	青少年のよろず問題に対して、相談の拠り処としてその一端、一助としての役割を果たし、問題の早期解決が図れる状態。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 概ね26歳までを対象として月2回(月曜日)の午後・夜間の時間帯に青少年問題専門の相談員による相談窓口を継続して実施。また、専用メールでの相談受付業務も実施している。 ひきこもりや不登校などの問題を抱える子どもをサポートする人材を育成する青少年サポート講座等を実施した。 					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		青少年のよろず問題に対して、相談の拠り処としてその一端、一助としての役割を果たし、問題の早期解決が図れる。				悩みを抱える青少年が相談しやすくなる環境が整備できる。				概ね26歳までを対象とした相談受付業務を実施。			
指標設定	指標説明	相談による効果度 【算出式:何らかの進展が得られたと推定される件数/相談件数×100】				相談(面接・電話)件数				青少年相談の実施(コマ)回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	50	53	55	58	55	57	59	61	84	84	84	84
	実績	91				49				84			
	達成度	182%				89%				100%			
分析	45件/49件				R1実績の37件から増加した。				7コマ×12月=84回 相談コマ数を確保した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,771	4,810	4,785		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	103	111	300		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	4,874	4,921	5,085			
	物件費計	299	311	249	336	74%	
	歳出計	5,173	5,232	5,334			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	5,173	5,232	249	336		

5. 総括的分析

総括的分析 コロナ禍の中、サポート人材育成のためのサポート講座は中止となったが、相談件数については、R1年度から増加となった。また、R2年度からは、当センターの特徴的な取り組みである夜間相談を充実させるため、第3月曜日の相談時間帯(R1年度まで15時～18時50分)を、16時～19時50分に変更して実施することとした。今後も、相談員と連携しながら本事業を継続していく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、若者が抱える悩み(いじめ・不登校・ひきこもり・ニート等)についての相談窓口の開設を行い、また、悩みを抱える青少年をサポートする人材を育成する「サポート講座」を実施する。また、広報ひらかたや枚方市HPによる周知を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方公園青少年センター青年文化事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1990(H2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立枚方公園青少年センター条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市在住、在学在勤の青少年世代(概ね22歳まで)及びその関係者。			
	サブターゲット	その他一般市民			
	ターゲットが抱える課題	青少年の交流の機会が十分に提供されないことで、青少年のさらなる健全育成につながらない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	青少年に対して交流の機会・場所を提供し学習・文化・ボランティア事業等を実施していく事で、さらなる活発な青少年の健全育成につながっている状態。				
事業概要	学習事業として、青少年教室(子ども囲碁教室、夏休み教室…体験事業・ものづくり・大型絵本と工作、体験事業)、ボランティア支援事業(絵本のよみかたり活動への支援)、文化事業として枚方市少年少女合唱団、枚方公園ユーススクエア(サンサン人形劇場)、青年祭(ライブ)、1Dayフェスティバル(展示・ライブ等)を実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
ロジックモデル		青少年の交流や、青少年文化事業を実施することで、さらなる活発な青少年の健全育成につながっている。				青少年の交流や、学習・文化・ボランティア事業等を行う機会が増える。				青少年の交流の機会の場の提供や青年の文化活動の支援を図ることを目的とする青少年文化事業を実施。				
指標設定	指標説明	参加者による事業の満足度 【算出式:参加者アンケートで「楽しかった」「おもしろかった」等の回答者数/アンケート集計数×100】				青少年文化事業への参加者数				青少年文化事業の実施回数				
		単位 %				単位 人				単位 回				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	指標数値	目標(見込み)	80	83	85	88	2,590	2,600	2,610	2,620	22	23	24	25
		実績	91				146				15			
	達成度	114%				6%				68%				
分析	29件/32件×100				コロナ禍により、青少年教室、枚方市少年少女合唱団の定期発表会、サンサン人形劇場、青年祭、1DAYフェスティバルなど大半の活動が中止となり、参加者数は激減した。				こども囲碁教室13回、ハーバリウムづくり2回					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	19,271	19,459	19,319		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,440	1,550	4,193		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	20,711	21,009	23,512		
	物件費計	4,024	3,281	405	3,845	11%	
	歳出計	24,735	24,290	23,917			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		24,735	24,290	405	3,845		

5. 総括的分析

総括的分析 R2年度は、コロナ禍により、大半の活動が中止されたため、参加者数は激減した。今後も引き続き、コロナ対策をとりながら、体験学習、工作教室、センター利用団体による青年祭などのイベント、子ども囲碁教室や子ども向けに絵本の読み語りを行う「よみかたりキャラバン隊」などの通年的実施、また、枚方市少年少女合唱団については、定期発表会を中心に、市民合唱祭や行政行事に関わるイベントなどバランスのとれた活動など実施していく。そのため、他市の状況等についても参考としていく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、青少年に対して交流の機会・場所を提供し学習・文化・ボランティア事業等を実施していくことで、さらなる活発な青少年の健全育成につなげていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子ども・若者育成計画推進事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	主にひきこもり、ニート、不登校状態の子ども・若者			
	サブターゲット	主にひきこもり、ニート、不登校状態の子ども・若者の家族			
	ターゲットが抱える課題	様々な要因により一人ひとりにあった自分らしい自立につながっていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子ども・若者一人ひとりが、自分らしく自立している。				
事業概要	平成25年5月、子ども・若者育成支援推進法に基づく「枚方市子ども・若者育成計画～ひきこもり等の子ども・若者の自立に向けて～」を作成するとともに、計画策定の周知のため、冊子及び青少年サポートマップ(改訂版)を各関係部署及び関係機関に配布するとともに、啓発事業を実施した。 また、平成30年3月には、これまでの支援の結果から顕在化してきた課題等に対応するため、本計画の改定版を作成し、平成30年度以降の施策・支援を展開するものとした。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						「枚方市子ども・若者育成計画(改訂版)」に係る取り組みが確実に推進される。				「枚方市子ども・若者育成計画(改訂版)」の充実を検討する。			
指標設定	指標説明					委員会等で出た意見のうち、各事業に反映できた数				「枚方市子ども・若者育成計画(改訂版)」の進捗管理や計画改定を検討する委員会等での意見数(各年度当初の持ち越し分を含む)			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)					1 1 1 1				3 3 3 3			
	実績					3				6			
	達成度					300%				200%			
分析						枚方市青少年問題協議会で出た意見のうち、3件を各事業に反映できた。				枚方市青少年問題協議会において、「枚方市子ども・若者育成計画(改訂版)」における各事業に対する意見を、年度当初の持ち越し分を含み6件いただいた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,746	6,414	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	347,121	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	48		
		人件費計	8,746	353,535	3,238		
	物件費計	0	0	17	0	—	
	歳出計	8,746	353,535	3,255			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		8,746	353,535	17	0		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであった。不登校の子どもに対する施策の充実を図るなど、「枚方市子ども・若者育成計画(改定版)」に基づき、施策の推進を図ることができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	「枚方市子ども・若者育成計画(改定版)」に基づき、社会情勢等の変化も見極めながら、困難を有する子ども・若者とその家族をできるだけ早く相談・支援機関につなげることや、自立に向けた支援体制の確立など施策の推進を図っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市ひとり親家庭等自立促進計画関係事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	○	R3	R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	~	年度まで							
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法											
関係補助金名称											サンセット	~
関係附属機関名称	枚方市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会											
事業対象	メインターゲット	市内在住の母子家庭、父子家庭および寡婦										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・低賃金や不安定な雇用など、取り巻く環境が厳しい。 ・子育てと生計を一人で担わなければならない。 										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本計画の基本理念である「ひとり親家庭等の誰もがいきいきと希望を持って暮らせるまち」が実現される。											
事業概要	枚方市ひとり親家庭等自立促進計画の策定、進捗管理及び「社会福祉審議会児童福祉専門分科会」の事務局運営を行う。また、本計画の基本理念の実現に近づけるよう、母子・父子自立支援員によるひとり親家庭等相談等に取り組んでいる。											

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」を推進する。				「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」に係る各種事業に取り組む。			
指標設定	指標説明					「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」の推進による影響が大きい母子・父子自立支援員によるひとり親家庭等相談の件数				「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」に係る各種事業の数(現年度当初時点)			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					800	815	830	845	121	121	121	121
	実績					798				101			
	達成度					100%				83%			
	分析					ほぼ想定どおりであった。				—			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	10,368	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	10,368	
	物件費計	—	—	1,916	2,118	90%
	歳出計	—	—	12,284		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	1,916	2,118	

5. 総括的分析

総括的分析 指標の達成度については概ね想定通りであったが、令和2年度は「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」の策定年度であり、例年よりも作業量が増加したことから、多くの人員を配置することとなった。今後は、主に計画の進捗管理にかかる実効性や透明性の確保に努めるとともに、今後の国の施策の動向、社会・経済情勢等の変化も見極めながら、各種施策の改善・見直しにつなげていく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」では、養育費確保に向けた相談支援体制の充実など、今後、新たに取り組むべき内容を記載しており、ひとり親家庭等の自立に向けた検討を進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子ども青少年政策課運営事務											
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	子ども青少年政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外									
	施策目標		99.施策体系外									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称						サンセット	~
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	子ども青少年政策課内の職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が滞りなく円滑に進んでいる状態。						
事業概要	子ども青少年課の予算及び決算に関する事務、職員の給与・休暇・人事・サービスに関する事務、物品購入、物品管理事務、文書の收受・発送・管理事務等を行う。 子ども青少年部の総務担当課としての事務を行う。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明												
	単位				単位				単位				
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)												
実績													
達成度													
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.22
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,156	8,235	8,773		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	481	1,200	297		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,637	9,435	9,070		
	物件費計	707	653	22,110	23,364	95%	
歳出計		8,344	10,088	31,180			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	27	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	27	0	0	0		
一般財源		8,317	10,088	22,110	23,364		

5. 総括的分析

総括的分析	子ども青少年政策課の運営にあたり、必要な事務処理を行った。 総務担当課として、部のとりまとめに係る事務処理を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も適正かつ適切な業務運営に努める。